

柳井医療センター だより

令和5年 1月

〈発行所〉
国立病院機構
柳井医療センター
〈発行責任者〉
住元 了



院長 住元 了

新年明けましておめでとうございます。令和5年を迎えるにあたり一言ご挨拶申し上げます（12月16日記載）。昨年1年間も新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。当院では2回の院内クラスターにみまわれましたが大過なく収束出来たのは日頃の訓練と学習の成果であったと、職員の皆様方に感謝申し上げたいと思います。考えてみればサッカーのワールドカップをテレビ観戦して感じたことは 観客、選手団に一人たりともマスクを着用している人がいないことです。日本のサポーターも周囲に合わせてか全員ノーマスクです。岸田首相もG7の会合ではノーマスクでした。このように、中国と日本だけがマスク着用を声高に叫んでいますが、今やノーマスクが世界標準となったと言っても過言ではありません。毒性の少ないオミクロン株感染はもう、インフルエンザと同等の扱いでいいのではないかと思います。早急に感染症法を改正しオミクロン株を2類相当から5類に格下げし、検査代、治療費をそろそろ自己負担にすべきです。

さて、ロシアーウクライナ戦争が冬期に入り膠着状態に入っているようです。一刻でも早く終戦になればよいと思いますが、お互い意地があるから戦争を止められません。ロシアはクリミア半島と東南部のドネツク、ルガンスク、ヘルソン州は絶対に死守すると息巻いています。失えばロシア、プーチン体制は完全に崩壊し、所謂ロシア存亡の危機となります。核兵器の使用も現実味を帯びてきます。一方、ウクライナの国民の愛国意識はブチャの残虐行為を目の当たりにして日々高まっており同領地を全部奪還すべしとの機運が非常に高まっており長期戦になるのは目に見えています。米国バイデン大統領の思惑はウクライナに武器をどんどん輸出し、加えて経済制裁を一層強め、ロシアをこの際軍事的にも、経済的にも政治的にも完全に封じ込めて、国力を削ぎ、20～30年立ち直れないようにして、世界の大国の地位から、北朝鮮並みの弱小国に引きずり降ろしたいのではないかと個人的には思っています。そして、日本もロシア産の原油、天然ガスをいつまでも当てにするのではなく早急に太陽光発電、風力発電、洋上発電、原子力発電等の脱カーボン主体のエネルギー変革を協力に押し進めていくべきと考えますが如何でしょうか。

最後に当院は地域医療構想調整会議では全病棟 重度の意識障害を含む障害者、重度心身障害者、神経難病患者、脳卒中合併入院透析患者等を主として診る慢性期病院として報告し、認知されています。加えて、地域住民の急性肺炎、急性腹症、急性脳卒中、意識障害などの急性疾患も丁寧に迅速に対応して参る所存です。地域に愛され頼りにされる病院を目指して頑張りますので本年も宜しく願いいたします。

理 念

- 一 良質の医療を提供します
- 一 素晴らしい療養環境を提供します
- 一 患者満足度の向上に努めます
- 一 職員満足度の向上に努めます

医師コラム

古くて新しい薬 ～漢方薬Ⅱ～



診療部長
松本 信夫

令和2年1月の同コラムにも書きました。

第二弾をということで、此の度も書いてみました。駄文を御容赦下さい。

私事で恐縮ですが、昨年大腸がんの手術を受けまして、進行がん。化学療法が追加となり計8クール行いました。抗がん剤はキツイものです。とにかく倦怠感！身体がへろへろになります。恐らく漢方薬がなかったら、途中で止めていたかもしれません。

ということで、以下の3つの薬を紹介します。

十全大補湯・・・娘婿の勧めもあり、飲んでみました・・・へろへろがシャキッとします。元来、末期癌患者の免疫力アップを期待して飲む薬でして、症状がとれるか半信半疑でしたが、これは効きました。リポビタミンDなんかより数倍効きます。

香蘇散・・・元来は妊婦さんでも安心な総合感冒薬です。これも抗がん剤により味覚障害（起こり始めには、コロナじゃない？と周りの人が私から逃げていきました）が出たときに服用しました。塩味がしなくなる・・・食べる楽しみがなくなる・・・これほど悲しいことはありません。しかしこれを服用して、2～3週間位で戻りました。

桂枝加朮附湯・・・元来は関節痛、神経痛の薬です。抗がん剤による末梢神経細胞の障害の副作用では手足（特に指先）がしびれます（手足症候群）。冷えると症状が悪化しますので、温める生薬（生姜・附子）が入ったこれを飲んでいきます。今でも軍手、靴下をしたままで就寝します。完全に元通りにはなりそうありませんが、少なくとも保温時のしびれ感はとれてきました。

今回は、ハマるだけでなく、自分でいろいろ試したものを紹介してみました。いずれの漢方薬も効果があり、感心しております。何よりいいのは、癌治療にしてもコロナ治療にしても、西洋薬には無い効果が引き出せること。そして、生薬はほとんど食物由来ですので副作用が少ないことです。

みなさんも、お困りの際には漢方薬を試してみられては如何でしょうか？

～神経筋疾患研修開催～

柳井医療センター研修事務局

令和4年10月20日当院主催で「神経・筋疾患」政策医療ネットワーク協議会中国四国ブロック研修会を行いました。

本研修会は、新型コロナウイルス感染症が蔓延する前は中国四国グループ管内の国立病院が主催施設となっており、他病院との交流を深めておりました。しかしながら、昨今の感染状況を鑑み、本年度はWeb開催となりました。

当院は、ALS（筋萎縮性側索硬化症）、パーキンソン病、多発性硬化症などの神経難病の患者さんの入院治療を主として行う専門的・中核的病院です。神経難病は診療だけでなく、看護やリハビリテーション・福祉制度など多方面で日々進化及び変化しております。そのため、わたくしたち職員も常にアップデートが必要なため定期的に研修会・研究会を開催しております。

当日は、中国四国グループの国立病院12施設・職員90人近く参加し、関心の高さがうかがえました。研修では外部講師3名に加えて、当院職員も4名も講演を行いました。今回は概ね入職5年程度の神経・筋疾患にかかわるすべての職種が対象ということで、医師・看護師・コメディカル等幅広い職員が参加し、各講演後にはたくさんの意見や感想が寄せられました。特に外部講師の方のお話は、他病院での取り組みや最新の情報など大変興味深く有意義な時間となりました。

今後も、このような研修や勉強会で研鑽していき、より良い医療を提供できるように努めてまいります。

令和4年度 神経・筋疾患研修会及びブロック会議

令和4年10月20日(木) 9時30分～16時45分
Zoom Meetingを使用したWeb研修
慢性神経筋疾患に係り5年程度までのすべての職種対象

・9:30～
開会の挨拶 NHO柳井医療センター 院長 佐元 了

・9:45～
総務総論 NHO柳井医療センター 副院長 宮地 隆史

・10:00～
神経筋疾患における呼吸リハビリテーションの実践と知見
NHO柳井医療センター 理学療法主任 横野 允也
難病療養の理念と実践 ～当院での取り組みについて～
NHO柳井医療センター 作業療法士 水野 智公
神経・筋疾患における嚥下リハビリテーションについて
NHO柳井医療センター 言語聴覚士 寺野 美紀

・11:15～
神経筋疾患の看護 ～ 悩めることを目指して ～
東京都立総合研究センター 社会福祉学術研究センター
難病ケア看護ユニット 副参事研究員 中山 優季 先生

12:45～13:30 ブロック会議

・13:30～
神経筋疾患で利用できる社会資源
NHO柳井医療センター 医療社会事業専門員 榎垣 綾

・14:15～
神経筋疾患における転倒予防 ～多職種連携アプローチ～
NHO東名古建病院 臨床研究部長 奥場 郁子 先生

・15:30～
神経筋疾患患者のQOL評価の現状を聞く
NHO新潟病院 院長 中島 幸 先生

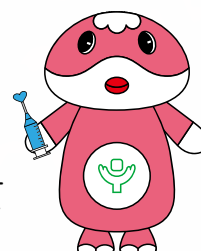
・16:30～
閉会の挨拶 NHO柳井医療センター 看護部長 大東 美恵

独立行政法人国立病院機構 柳井医療センター
山形県柳井市伊豆山95 TEL 0820-27-0211

研修会ポスター

Web研修、やなぎよも
やってみよう。
やなぎよも
お勉強がんばるぞ

柳井医療センター
公認キャラクター
「やなぎよ」





地域医療連携室コーナー

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスが蔓延して早4年。今年はどんな新年をお迎えでしょうか。

昨年、パーキンソン病の方が施設より胃瘻造設目的でご入院されました。入院に至るまで発熱や嘔吐を繰り返し何度もご家族・本人と話をし、施設側ともやり取りをしながら胃瘻造設の方向となりました。入院後嚥下造影を行い、経口摂取はアイスクリームなら可能であることがわかりました。その結果を施設側とも共有し、今後の摂取形態や姿勢などを言語聴覚士よりアドバイスしていただきました。ご家族も最初は「食べられなくてかわいそう」と涙を流されていましたが画像を見ることで誤嚥の危険性を理解していただくことができました。

当院ではこのように嚥下造影検査を行い嚥下の評価を行っています。低下していく機能にあわせた食事の形態や姿勢、介助方法など食事環境を調整することで食べる楽しみが繋がりおいしく安全に食べ続けることができるかと思います。

評価を必要とされる方がおられましたら地域医療連携室までご相談ください。

(外来嚥下造影パス)

筋萎縮性側索硬化症(ALS)の「情動制止困難」という症状を知っていますか？

第10回日本難病医療ネットワーク学会にて今回2度目となるALS協会理事でもあり当事者の〇氏の話の聴講しました。ALS協会には支援者との関係性破綻の相談が寄せられるようです。関係性構築の失敗の背景には、本人の気持ち、性格だけではなく情動制止困難症状があると話されていました。①こだわりが強い②怒りの表出が強い③思いやりや気遣いがないという共通点があるそうです。〇氏自身は、「痛みが関係する場合」「幾度とない注意でも同じミスを繰り返される場合」「意思を無視して勝手なことをされた場合」と分析されていました。また、怒った後別人のように優しい言葉をかける場合は、情動制止困難の症状だと思って欲しいと言われていました。

〇氏の話の聴いていると症状とはいえその背景には何か訴えたいことがあるのだとも感じました。ALSにはこのような症状もあり当事者自身もこの症状に悩んでいることを知っていただければと思います。

<認知症を伴うALSについて>

ALSを含む運動ニューロン疾患を発症しても、ごく一部の患者さんは認知症を併発しているということがわかってきています。また、ALSの症状である運動神経の障害が出る前に、しばしば軽度の前頭側頭型認知症の症状がみられることもわかっており、認知症を伴うALSもALSの一つとしてみなされるようになってきています。特に運動ニューロン疾患に伴う認知症の場合は精神症状や問題行動が多くみられるため、家族の体的および精神的負担がかなり大きくなります。そのため、周囲の理解や支援が必須となります。

運動ニューロン疾患を伴う認知症 | 健康長寿ネット (tyojyu.or.jp)より一部抜粋



認知症疾患医療センターコーナー

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

2022年は皆様にとってどんな年でしたか？新たな型へと変化しながら依然として感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナの侵攻、円安と物価の高騰に伴い多くの商品価格の値上げ、日本では147年ぶりとも言われた6月猛暑の気候異常・・・、いずれも早く落ち着くことを願うばかりです。

2023年は、皆様にとって幸多い年でありますように。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、日本歯科医師会では、高齢になっても豊かに楽しく過ごしていただくために、いつまでも自分の歯で、自分の口から食事をとることが最も大切なことと考え¹⁾、8020運動が推進されています。8020達成者は非達成者よりも生活の質が良好に保たれていること、社会活動への意欲が高まることや残存歯が多いほど長寿であるという調査結果もあるそうです。

認知症の発症リスクについてみた場合、残存歯の本数が少ない人ほど認知症になりやすいということもわかってきているとのことです。

実際に歯を失った場合、入れ歯やインプラントでの新たな義歯作成について検討されるかと思います。しかし、人には「第3の歯」が眠っているということをご存知ですか？

11月末から12月初旬だったでしょうか。何気なくつけたテレビのニュース番組から聞こえた「第3の歯」。入れ歯でもなくインプラントでもなく、私たちには乳歯や永久歯に続き「第3の歯」が眠っているという内容で、しかも、「第3の歯」は元々私たちの身体にあるため、治療をしても拒否反応を起こさないというものでした。

「第3の歯」については、京都にある「トレジェムバイオフィーマ」という会社で、2030年の販売を目指し薬の開発に取り組まれているようです。7年後には、

- 1、入れ歯にする
- 2、インプラントにする
- 3、第3の歯を生やす

と選択肢が増え、再び自分の歯でしっかりと噛むことができるかもしれません。しっかりと噛むことで多疾患の予防につながれると良いですね。



しっかりと噛むことのメリット

- ・肥満予防
- ・味覚の発達
- ・脳の発達、認知症予防
- ・ガン予防
- ・全身の体力、活力
- など

引用: 1) <https://www.jda.or.jp/> 日本歯科医師会

参考資料: デンタルクリニック柏

病院の統計

年 月	当院平均 患者数(人)			紹介患者数(人)
	入 院		外 来	
	一 般	療養介護		
R4.11	197.7	73.2	71.9	76

一般病床204床、療養介護病床76床

【紹介率】

単位：％

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R3'実績	83.7	78.5	70.0	85.3	85.3	82.8	85.5	82.4	97.6	89.2	93.5	82.0
R4'実績	86.7	90.9	79.6	79.4	87.0	88.1	79.6	90.2				

【病床利用率】※一般病床のみ

単位：％

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R3'実績	94.3	92.1	93.8	94.4	93.2	91.7	88.4	90.0	92.2	96.2	97.2	96.3
R4'実績	95.1	93.0	95.3	95.9	95.5	93.9	92.8	96.9				

外 来 診 療 担 当 表

		月	火	水	木	金	備 考
内 科	初 診	宮地 隆史	福場 浩正	西川 智和	山崎 雅美	田妻 卓	要 予 約
	再 診	西川 智和	田妻 卓	宮地 隆史	宮地 隆史	福場 浩正	
	再 診	福場 浩正	—	—	西川 智和	山崎 雅美	
	再 診	—	—	—	福原宗太郎	—	
外 科	初 診	福原宗太郎	竹本 将彦	住元 了	松岡 功治	松本 富夫	火・木曜日 午後手術日
	初 診	竹井 大祐	竹井 大祐	—	—	—	
	再 診	竹本 将彦	松本 富夫	福原宗太郎	竹本 将彦	松岡 功治	
	再 診	—	—	—	福原宗太郎	—	
腎 臓 内 科					たがはし 高橋 輝		
整 形 外 科				よこた 横田 厳	ながた 仲田 恭平		
循 環 器 内 科		こばやし 小林 佑輔		おくり 小栗 直人			
呼 吸 器 内 科			きただい 北台英里佳			いそやま 磯山 正子	
肝・胆・膵・消化器科		しょうひら 上平 祐輔					
糖 尿 病・内分泌内科						おおの 大野 晴也	
内 視 鏡	初 診	松本 信夫		松本 信夫		第1・3週 松岡 功治	要 予 約
	再 診	松岡 功治		松岡 功治		第2・4週 たかさご 高砂 健	
皮 膚 科			(隔週) まつばら 松原 大樹 やなぎた 柳田のぞみ				
泌 尿 器 科		広島大学病院医師					午後のみ

は広島大学病院医師

令和5年1月1日現在

腹部救急診療

24時間365日体制で診療しています。

対象患者
激しい腹痛、心窩部痛、
側腹部痛、腰痛、肛門会陰部痛、
鼠径部痛、下血症例



救急担当医は次のようになります。(※時間外の体制)

	月	火	水	木	金	土	日
担当医	竹井	松岡	松本(當)	竹本	当番外科医	当番外科医	当番外科医

※消化器外科医が病院内に24時間365日常駐しています。

CT・MRIの検査予約を受付けています

当院では、CT及びMRIの検査予約を行っています。
下記の連絡先に予約を申し込んでください。放射線専門医
による読影結果は FAX 及び郵送にてお届け致します。撮影
画像はCD-Rで患者様にお渡し又は郵送致します。
(至急依頼の場合の検査報告は検査後 2 時間ほどで出ますの
で FAX 後、郵送致します。)

CT・MRIの予約受付先

国立病院機構柳井医療センター放射線科受付

担当者 山本(やまもと)

電話:0820-27-0211 内線538または229

※なお、FAXでの申し込み及びその他の診療予約については地域医療
連携室へ申し込んでください

